

地域新聞みあき 創刊号

地域新聞みあき製作委員会
2016年10月1日 発行
連絡先 info.miaki@gmail.com

稻垣 区長

新情報からこれまでの区長の活動を紹介します。

旅するチョウ 三秋の大池で発見か?

大池で撮影されたアサギマダラ

大池で撮影されたフジバカマ

現在のコミニティーアンプ

みんなで考えよう

みんなで考えよう

「アサギマダラ」ってどんなチョウ?

大池で撮影されたアサギマダラ

アサギマダラ (学名: *Parantica sita*) は、タテハチョウ科のチョウで、日本では北海道から沖縄まで広く分布する。成虫は、飛翔力が高く、遠距離移動する。飛来してきている。このように、そのチョウがある大池に飛来してきていて、それを大移動する。アサギマダラの名前は、アサギマダラの以

秋だ通満きはアサギマダラ (学名: *Parantica sita*) は、タテハチョウ科のチョウで、日本では北海道から沖縄まで広く分布する。成虫は、飛翔力が高く、遠距離移動する。飛来してきている。このように、そのチョウがある大池に飛来してきていて、それを大移動する。アサギマダラの名前は、アサギマダラの以

土手辺りで見られるかも。。。

(著)栗田昌裕

「謎の蝶アサギマダラはなぜ海を渡るのか?」

(著)栗田昌裕

「地域新聞みあき 創刊にあたって」

(文責) 稲垣 信雄

「地域新聞みあき 創刊にあたって」

(文責) 原田 浩明

「地域新聞みあき 創刊にあたって」

(文責) 原田 夏子

和尚の小部屋
(文責) 西願寺 玉井敬信

「小さな何か」

梅雨のある日のこと、三秋の『地元新聞の発刊』と、そのトピックの一つである三秋の里側からの『明神山登山』について「和尚はどう思う?」と聞かれた時、私は「大賛成です!」と即座に答え、明神山登山隊への参加も即決した。地域活性化については、少子高齢化を迎える日本各地での成功例やアイディア等の話題には事欠かなくなってしまった今日であるが、我が地域からそれらの議論が漏れ聞いてくる事はなかったように思う。地域の未来を語るべき若い世代が少ない影響も大きいとは思うが、だからこそ、このような状況の中で、地域の老若男女が楽しめそうな「小さな何か」を始めてみることの意義を頼もしく感じる。そもそも、我が地域では何が出来るのだろうか?たくさん小さな対話なくして、大きな方向性には発展しない。願わくは、関わる人々が多いに楽しみつつ進めて頂きたい。人は楽しい物事にこそ集まって来るのだから!

主な行事予定

平成28年
10月
9日(日) 秋祭り
14日(金) 地区别人権同和教育総懇親会
19:00~ 三秋集会所
20日(木) 中村地区ふれあいの集い
「敬老の家」
中村地区公民館

11月
6日(日) 三秋大池防災避難訓練
7:00~ 三秋大池
中村地区防災避難訓練
9:00~ 北山崎小学校

平成29年
1月
15日(日) 字費納入 三秋集会所

3月
12日(日) 平成28年度通常総会
14:00~ 三秋集会所

編集後記

地域新聞みあき製作委員会編集委員の原田です。7月より有志の方たちと準備を進め、本日待望の第1号を発行することができました。“地域新聞”という名のとおり、三秋に密着した話題をお届けし、三秋の情報発信基地として皆様に貢献出来ればと思っております。老若男女出来るだけ多くの方に読んでもらいたいと思っておりますので、どんな些細なことでもかまいません、ご意見・ご感想を是非お聞かせください。地域新聞みあき製作委員会のメールアドレス (info.miaki@gmail.com) もしくは、この新聞を皆さんのお手元へお届けしているお近くの組長さんにお伝えください。今後は年4回位のペースで発行していく予定ですので、宜しくお願い致します。

三秋の新たな住人?

(文責) 稲多 早苗

新しい朝が来た♪

(文責) 高井 健一

似てませんか?

(文責) 中藤 真里

**ちよつと知りたい
三秋地区**

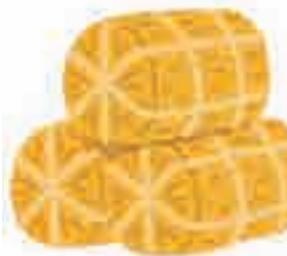
(文責) 藤岡 健司

ジャックと豆知識

(文責) 山崎 より






下三秋の川にて

消防詰所にて

夏休み、朝6時半から消防詰所前でラジオ体操が行われました。三秋地区の小学生と愛護班の担当者が元気な子供たちを見ています。

夏休み期間中の15日間行わされました。朝から元気がもたらすそうです。

夏の奉仕活動の日、山陽工場付近の道を歩いていた二羽の鴨を偶然見つけました。こどもたちが見つけました。この鴨に会えるかも!?

80年代一世を風靡したキョンシー

ラミーカミキリ

三秋端にて発見!!突然この虫が目の前に現れてビックリ!!! 実は、このラミーカミキリは、体長10~20ミリほどの小型のカミキリムシ一種。インドシナ半島・

中国・台湾からの外来種で西日本の各地で見られるそうです。

三秋という地名は、「屯倉」(みやけ)といふ言葉から来たものと考えられています。この「屯倉」へいきました。また、古墳なども作られました。古くから栄えていました。

次回は、三秋昔話でも聞いてみます。ご期待下さい。

「滝の水に感謝」

(文責) 吉岡 满

明神山の一角に懸々と流れる滝があります。通称「黒岩の滝」。この滝の水は、荒谷川を流れ、森川へと合流します。実は、道明神トンネル工事の際に水不足時に活用され、果樹園の補水へと水が流れます。また、荒谷川にきれいな水が流れることで、川魚やタリが飛び交う光景がとても大活躍しています。

三秋上組にある通称「黒岩の滝」

私の絶景



サンヨーハブラシの上に観光列車「伊予灘ものがたり」発見!!模型みたいでカワイイですね。みんなもいろんな角度から「伊予灘ものがたり」を撮ってみよう。

おもいで

夏休みに三秋に来られた2名の子供さんから三秋での体験談を作文にして頂きました。

吉岡峰子さんの甥御さん(塩崎康太くん)

西村幸子さんのお孫さん(牛丸凌珂くん)

三秋の絆

ほくは、猪玉川口からまた小学三年生です。夏休みに、お母さんとおばあちゃんで、桑食ました。ものはがく、カツカツも素晴らしく、水稲作付けも野菜栽培もやっています。これから人生に夢と希望を与えてください。人生に夢と希望を与えてください。